



広報 常陸大宮

2022
1
No.208

休場展望台からの富士山
【諸沢地区 令和4年元旦撮影】

迎春

常陸大宮市の情報をアプリから自動でお知らせ

ひたまるアプリ

GET IT ON
Google Play

Download on the
App Store



プッシュ通知
機能付き

左記QRコードから
ダウンロードできます

ひたまる

主な内容

- P2~3 新年の挨拶
- P4~5 学校運営協議会が始まります！
- P6 市認証特産品「常陸大宮さん(産)」新たに1品目追加
- P8~11 まちのできごと



常陸大宮市長
鈴木 定幸

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和4年の輝かしい新春をご家族おそろいで、健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

振り返りますと、昨年は東京オリンピック・パラリンピックでの、日本人の活躍など明るい話題もございましたが、地球温暖化などによるものと推測される各種災害の激甚化が目立った一年でもありました。

政府は昨年12月に、令和4年度予算編成の基本方針を閣議決定し、「危機に対する必要な財政支出は躊躇なく行い、万全を期す」と明記することで、積極的な財政出動を進めることを強調しましたが、本市におきましても東日本豪雨の本格的復旧・復興につきまして、国が主体となり実施しております「那珂川・久慈川緊急治水対策プロジェクト」の早期完了に向け、国県と連携し強力に推進しているところであります。このプロジェクトには大場遊水地をはじめとして、市民の皆様方のご理解とご協力が不可欠であります。皆様方の生命と財産を守る為の重要な事業でありますので、何卒ご協力の程、お願いする次第であります。

さて、私は市長に就任して以来、新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済対策に力を注いでまいりました。また、人口減少問題を最重要課題と捉え、様々な施策の検討をしてまいりましたが、来年度がひたちおのみや未来創造アクションプランの改訂期となることから、政策プロジェクトとして3つの項目を計画に盛り込ませていただきました。

1つ目は「常陸大宮市に住みたい魅力あるまちづくり」であります。そしてその魁となるのが私の政策の一丁目一番地である「常陸大宮駅周辺整備事業」であります。昨年JR東日本など関係機関と協議を重ね、基本設計が完了し、現在は実施設計を進めているところであり、今後は東西駅前広場やアクセス道路、さらには高齢者等に優しいヘルスロードなど一体的に整備するための

準備を順次進めてまいります。

また、(株)ノーブルホームと締結した基本協定等に基づき、官民相互に協力・連携することで、子育て世代も視野に入れた住環境整備を推進し、お年寄りから子供たちまで誰もが快適に生活できる、お洒落で機能性の高い街づくりを常陸大宮駅周辺を起点に進めてまいります。

そして2つ目は「常陸大宮市で育てたい、子育て支援と教育の充実」であります。子育て支援住宅をはじめとした子育てしやすい環境整備に加え、子供達が学業やスポーツ、文化・芸術の面で、しっかりとした結果を残せるよう施策を展開すると共に、全力で支援をしてまいります。

最後3つ目は「常陸大宮市にきたい、新たな魅力の創出と磨き上げ」であります。本市には那珂川・久慈川という2つの一級河川をはじめ、御前山ダム、美和地域の山城など数多くの資源が点在しております。これら資源を現地からではなく東京をはじめとした多方面からの目線で発掘、磨き上げることにより新たな観光スポットとして、魅力として活用してまいります。

この他にも、子育て支援対策や高齢福祉など常陸大宮らしさを大事にしながら、誰もが安心して住み続けたいと思える常陸大宮市の実現に向けて邁進していく所存であります。

今だに新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況ではありますが、今日のコロナ禍による閉塞感を打破すべく、逆風を追い風に変えるような発想の柔軟性を持って、あらゆる課題に果敢に挑戦していく覚悟でありますので、市民の皆様方をはじめ、関係機関・団体の皆様方には、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、皆様方のご健勝とご多幸、そして実り多き輝かしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年の挨拶



常陸大宮市議会議員
小森 敬太郎

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

また、日頃から市議会の活動に対しまして、温かいご支援とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

議長を拝命し2度目の新年を迎えますが、より開かれた議会、市民の皆様と共に歩む議会実現のため、一層身を引き締めて取り組む覚悟でございます。

昨年を振り返りますと、一昨年同様、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた一年であったと感じております。度重なる緊急事態宣言の発令により、国内外への移動自粛やイベント等の開催制限により、世界的なスポーツの祭典「東京オリンピック・パラリンピック」の開催さえ危ぶまれましたが、大半の競技が無観客での開催となったように、ここかしこに、コロナの影響は、社会生活、経済活動に大混乱、大打撃をもたらしました。

本市におきましても、さまざまなお祭りやイベント等の中止と公共施設や特に飲食店の利用においても制限が設けられるなど、感染防止のための人流抑制により、多くの影響を受けました。オリンピックのホストタウンとして取り組んできましたパラオ共和国選手団の事前キャンプも残念ながら中止となりました。市民の皆様におかれましては、あらゆる面で不安や我慢を強いられた一年であったことと拝察いたします。

このような中、昨年8月には、市議会として、市民の生命を守り、安心した生活と地域経済の早期回復を最優先課題として、市執行部と一丸となり感染対策に取り組むため「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望」を市長に提出いたしました。

未接種世代のワクチン接種の早期実施体制の整備や市民へのワクチン接種に関する正確で迅速な情報提供など、6項目にわたる要望をしております。

また、毎年実施しておりました議会報告会の開催も

コロナ禍の影響により一昨年に引き続き見送り、市民の皆様との意見交換の場が開けなくなっております。今後は新しい開催方法も検討し「市民に開かれた議会」の実現を目指してまいります。

本年は、市の最上位計画であります「総合計画基本計画（ひたちおおみや未来創造アクションプラン）」が新たにスタートします。各分野のまちづくりを進めるうえでの基本の指針としての役割を果たすものとなりますが、優先すべきは人口減少対策への取組であります。

特に、常陸大宮駅周辺整備事業をはじめとした重要施策に対しましては、市議会といたしましても、市政への監視ばかりではなく、民意を市政に反映できるよう、協調とけん制の下で緊張感を保ちながら、丁寧な対話を重ね切磋琢磨し、課題解決に向けて、一層の努力をしております。

新型コロナウイルス感染症につきましては、医療従事者をはじめとする関係者の皆様のご尽力と市民の皆様のご協力によりまして、ワクチン接種も進み、感染者は減少傾向にあり、落ち着きを見せておりましたが、新たな変異株の発生により、第6波への懸念は日増しに強まっております。引き続き、一人一人が「三つの密」の回避、マスクの着用と手洗いや消毒、こまめな換気の徹底、黙食の励行など、基本的な感染予防策を続けつつ、「新しい生活様式」を実践していただきますようお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、健やかで笑顔あふれる一年となりますようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

学校運営協議会

学校と地域の連携・協働のもと、一体となって子供たちの成長を支えていくため、常陸大宮市ではなお、詳細については、広報常陸大宮3月号に掲載する予定です。

学校（コミュニティ・スクール）

学校運営協議会

学校運営・その運営に必要な支援に関する協議など



学 校

地域の力で、
授業や学校
活動が充実
します。



子 供

多様な学習
や体験活動
の機会が得
られます。



学校運営協議会で
「地域とともにある学校づくり」



地 域

住民の連携
が深まり、
地域力が高
まります。



保護者

地域ぐるみで
子供を育てて
いる安心感が
アップします。



が始まります!

『学校運営協議会事業』と『地域学校協働本部事業』の2つの事業を、令和4年度より実施します。

地 域

地域学校協働本部

学校と目標や
ビジョンを共有



人材・活動などの
コーディネート



地域学校協働本部事業とは、これまで市内全中学校区で実施してきた学校支援地域本部事業(学校支援ボランティア)をさらに発展させたものです。学校と地域が相互にパートナーとして連携していきます。



花壇整備



読み聞かせ



田植え

■ 問い合わせ先 ■

教育委員会 生涯学習課 生涯学習グループ ☎0295-52-1111(内線334)

市認証特産品「常陸大宮さん(産)」新たに1品目追加

市認証特産品「常陸大宮さん(産)」として新たに1品目が追加となります。

「常陸大宮さん(産)」特産品認証制度は、市内で生産された優れた農林水産物や加工品の生産拡大や販売促進を目的として「常陸大宮市らしさ」、「品質・価格」、「信頼性・安全性」、「市場性・将来性」といった審査基準を満たしたものを市の特産品として認証するものです。



久慈川たけのこメンマ

元気な郷づくり株式会社(岩崎)



道の駅常陸大宮「かわプラザ」オリジナルのメンマ

地元竹林組合と協力して完成した100%常陸大宮市産のメンマです。

久慈川の竹林で収穫されたタケノコを加工したメンマです。醤油と清酒をベースにした伝統的な味付けは、風味を活かす優しい味わいで食べ飽きません。

・販売時期 8月～9月頃

・取扱店 道の駅常陸大宮「かわプラザ」 参考価格[1袋100g] 600円(税込)

◆市特産品「常陸大宮さん(産)」認証制度の概要

申請資格 商品を生産・製造する事業所を市内に有する法人その他の団体
市内に住所を有する個人事業者

対象商品 市内で生産され、または製造されるもの
市内で生産された農林水産物等を原材料に含むもの ※最大3点まで認証申請可

認証期間 3年間 [令和3年度認証決定分:令和7年3月31日まで]

申請方法 毎年度期間を設定し公募 [令和3年度公募:令和3年7月12日～9月10日]

審査方法 常陸大宮市農産物等地域ブランド認定制度・6次産業化推進協議会(有識者等で構成)において審査を実施 [令和3年度開催:令和3年11月9日]
※平成30年度認証品の更新審査も実施。2品目が令和4年4月1日付で更新認証となります。

認証品数 50品目

■問い合わせ■

農林振興課 生産流通グループ 52-1111(内線203)

茨城県知事から表彰状

県勢の発展に著しい功労・功績があった方々などを称える「令和3年度茨城県表彰式」が茨城県庁で開催され、本市からは、個人1人と2団体が表彰されました。

おめでとうございます。

【功績者表彰】

— 生活環境の保全に功績 —

尺丈山「百樹の森」森づくり ボランティア協議会

多年にわたり、良好な森林の状態維持や山火事防止PR活動に尽力され、尺丈山（美和地域）の麓の自然環境改善に寄与されました。



— 産業の振興に功績 —

常陸農業協同組合奥久慈枝物部会

多年にわたり、枝物のPRや相互研鑽活動による産地確立に取り組むとともに、担い手の創出と耕作放棄地解消にも尽力され、地域農業の振興に寄与されました。



【新しいいばらきづくり表彰】

— 産業の振興に功績 —

本間 健司 漆芸家、木漆呂空居代表、奥久慈漆生産組合幹事

漆林管理や作品制作、漆塗り教室の開催により、奥久慈漆の保存と啓発に貢献するとともに、国際漆展・石川2020において、最高賞の大賞を受賞されました。



ますます元気に!! 介護予防「元気アップ教室」

後期高齢になったときに要介護状態にならないよう、前期高齢の段階から転倒骨折予防や日常生活で必要とされる運動機能の向上を目的に、「元気アップ教室」を御前山市民センターで実施しました。9月から12月までの全10回、15名の方がウエイトボールやバランスマットなどを使って、運動を行いました。最終日に実施した体力測定では、初回に測定した記録より、皆さん体力が向上していました。

参加された皆さんからは、「これからも自宅で続けていきたい」「楽しく運動することができた」「また参加したい」などの声がよせられました。



▲バランスマットを使った四つん這い運動

11/23

リボン・アートボール ワークショップ

道の駅 常陸大宮 〜かわプラザ〜で、リボン・アートボールワークショップを開催しました。「リボンアートボール」は、東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムとして、県独自で取り組んでいるプログラムで、捨てられてしまうスポーツ用のボールに絵を描くなどして、アートの力で再生させる取組です。

当日は、16組30名が参加し、思い思いに色を塗ったり、模様を描いたりして、使い古されたボールが素敵なアートボールに生まれ変わりました。



▲カラフルなボールに変身！

12/1

街頭キャンペーン実施

年末の交通事故防止県民運動（12月1日～12月15日）及び犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）に合わせ、道の駅 常陸大宮 〜かわプラザ〜において、街頭キャンペーンが行われました。

交通安全対策推進協議会、大宮警察署、交通安全協会大宮支部、大宮地区交通安全母の会連絡協議会、大宮地区安全運転管理者協議会、手をつなぐ育成会の皆さんが参加し、買い物などに来店された方へ、チラシや啓発グッズを配布しながら交通事故防止や犯罪被害者への配慮などの呼びかけを行いました。



▲ご協力ありがとうございました

12/5

御前山サイクリングフェスティバル ～グルメライド～ 開催！

常陸大宮市内の御前山ダム公園を会場として、常陸大宮市と城里町で構成される御前山・那珂川広域連携協議会が主催する、「御前山サイクリングフェスティバル～グルメライド～」が開催されました。

茨城サイクリングナビゲーターの篠さんや、常陸大宮市地域おこし協力隊の吉川勝隊員を含め、100名の参加者が地域のグルメや景色を存分に味わいました。

抽選会では、常陸大宮市と城里町の特産品やゆるキャラグッズが当たるなど、参加された方からは、「楽しかった」「また参加したい」という声を数多くいただきました。



▲参加した皆さんで集合写真



◀ 鮎の塩焼きどうぞ



▲那珂川大橋横断！

12/4.5

スケート教室開催

笠松運動公園山新スイミングアリーナ（屋内アイススケート場）において、市内小学生4～6年生を対象としたスケート教室を開催しました。

2日間で53名の児童が参加し、班の指導者に靴のはき方や立ち方・転び方などの基本をはじめ、滑り方のコツを丁寧に指導してもらいました。2時間ほどのスケート教室でしたが、児童たちは転びながらも、見る見るうちに上達し、最後には楽しそうにスイスイと滑ることができるようになりました。



▲みんなで楽しく滑りました！

12/6.7

母校で調理実習

本市出身で、現在はシェラリゾート白馬の総料理長を務める金澤光久シェフ及び山方中学校・昭和62年度卒業生有志一同より、子供たちの食育に役立ててほしいとレシピ本「たったこれだけでびっくりするほどおいしくなるコツ教えます」が20冊寄贈され、市内小中学校と高等学校へ配られました。

7日(火)には、金澤シェフの出身校である山方中学校にて、金澤シェフが講師となり、レシピ本にも掲載されている「パルマ風リゾット」の調理実習を行いました。



▲真剣に料理する中学生の皆さん

12/12

国際交流フェスティバル

市国際交流協会主催の「第12回国際交流フェスティバル～コロナに負けない国際交流～」が開催されました。ステージ発表は空手演武や花いけ実演会、立体切り絵やネパールダンス、ジャマイカダンスなど様々な国の文化に触れることができる内容でした。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により収容人数や時間など多くの制限がある中での開催となりましたが、万全な感染対策をとりながら、海外出身者と市民の方々の交流を深めることができました。



▲参加の皆さんで集合写真

12/14

「虹のポケット」と見守り協定締結



市では、高齢者等で買い物に行けない方に、地元産の野菜や日用品まで取り揃え各家庭へ届けて販売を行っている「虹のポケット」と見守り協定を締結しました。

この協定では、訪問中や配送中に、いつもと違う様子に気付いたとき、行政機関等へ連絡してもらい、地域内で安心安全に暮らす支援にご協力いただけることになっています。

◀(右)後藤 悟子理事長

12/10
11.18

駅西交流拠点 社会実験

子育て支援や市民交流の場を目的とした駅西交流拠点の整備にあたり、「にぎわい」「インクルーシブ」「防災機能」および夜間照明の検証をするため、社会実験を実施しました。

昼の『インクルーシブ』（10・11日）では、障がいの有無に関わらず遊ぶことができるインクルーシブ遊具体験、防災・防火体験、バルーンリリースなど、夜の『あかり』（18日）では、交流拠点が完成した際の夜間

照明を想定した照明強度の実験、野外上映、光のらくがきなど、全日を通して子供向けワークショップやキッチンカーの出店などを行いました。

来場者数は3日間で延べ1,522名、今後の計画に市民の皆さんの意見を反映させるため、アンケートにご協力いただきました。交流拠点は、現在空き地となっている駅西側の市有地に2025年度完成予定です。



▲昼の社会実験の様子
【インクルーシブ（遊具を体験する子供達）】



▲夜の社会実験の様子【あかり】

12/20

年末の県下一斉街頭犯罪等抑止活動

年末の県下一斉街頭犯罪等抑止活動期間中（12月17日～31日）に合わせ、市役所及びJR常陸大宮駅周辺のパトロールと啓発活動が行われました。

大宮警察署、大宮地区防犯協会のほか、大宮防犯連絡協議会大宮支部、大宮地区交通安全協会大宮支部、大宮地区交通安全母の会連絡協議会、茨城県防犯協会女性部、大宮地区セーフティマイタウンチーム、大宮地区少年指導委員、大宮安全安心支援隊が参加して、店舗に立ち寄ったり市民の皆さんへチラシや啓発グッズを配布しながら、防犯を呼びかけました。



▲国道118号線をパトロール

11/21

地域の方からまちのできごと

寄せ植え教室開催



宇留野坏区で、東日本台風（台風19号）での水害を乗り越え、約2年ぶりに寄せ植え教室が開催されました。

12/
6~21

市議会定例会

令和3年第4回常陸大宮市議会定例会が、12月6日から12月21日まで開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、全て可決されました。

条 例

- 常陸大宮市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市歴史民俗資料館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市農業共済条例を廃止する条例

令和3年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（2会計）補正予算、上水道事業会計補正予算、下水道事業会計補正予算

その他

- 茨城北農業共済事務組合の解散について
- 茨城北農業共済事務組合の解散に伴う財産処分について
- 指定管理者の指定について
大宮東部コミュニティセンター
道の駅常陸大宮

教 育 長 退 任

茅根正憲氏が12月24日付けで市教育長を退任されました。

このたび3年間の任期を無事終えまして、退任となりました。思い返してみますと、学校関係においては、新型コロナウイルス感染症への対応で、ギガスクール構想の推進により1人1台のタブレット端末の整備が進み、オンライン授業を確立いたしました。また、空調設備については、特別教室へのエアコン設置が済んだことで、全教室が整備を完了し環境面で大きく変わりました。それから、児童生徒に安全・安心な学校給食を提供する学校給食センターが完成しました。社会教育においては、国体なぞな競技を地域一体となって展開し無事に成功を収めました。また、文化財関係では、文化財保存活用地域計画を策定したことで、保存継承されてきた文化財の活用などを示すことができました。これまで、市民の皆さんのご理解やご協力をいただき、多くの事業を推進することができましたことに、謹んで厚くお礼申し上げます。



東京2020オリンピック競技大会 聖火リレートーチ展示!!

白石美帆さんの聖火リレートーチ展示

常陸大宮大使の白石美帆さんが東京2020オリンピック競技大会の聖火リレーのランナーとして使用したトーチとユニフォームを市役所1階のロビーに展示しています。白石美帆さんから市民の皆さまに、ぜひご覧いただきたいとコメントをいただきました。

市役所開庁時間内に自由にご覧いただけます。(展示期間は2月末までを予定)

白石美帆さんからのコメント



常陸大宮市のみなさまへ

コロナ禍の昨今まだまだ予断は許しませんが、昨年の東京オリンピックのあの夏、アスリートの方々の躍動・熱気・感動を少しでも呼び起こせることができたらと想い、今回このような機会をいただきました。市役所内にてトーチと私が聖火ランナーで着用した衣装を展示させていただきますが、次のオリンピックまでには世界中が平穏に包まれていますようにと、心より願っています。

どうか、みなさまもお元気でいてくださいね。

白石美帆

聖火リレートーチの学校巡回展示

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されたことを記念するとともに、市内の児童生徒に対し、オリンピック・パラリンピックの意義や価値について理解を深めることを目的に、オリンピック・パラリンピック聖火リレーのトーチを、市内全ての小・中学校を対象に巡回展示しています。



▲村田小展示の様子

ホストタウン交流会＝ペリリュー・スタディープログラム2021＝

12月19日(日)に、常陸大宮ショッピングセンターピサロにおいて、常陸大宮市ホストタウン交流会「ペリリュー・スタディープログラム2021」を開催しました。このプログラムは、パラオの中でも特に本市と関わりの深い「ペリリュー島」に焦点をあて、歴史的なつながりを学び、平和と友好交流について考えるきっかけとなるように企画したものです。

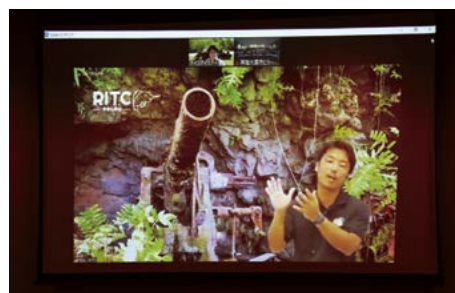
まず、生還者の証言をもとに、日本兵の視点から戦争の悲惨さを描いた漫画「ペリリュー・楽園のゲルニカ」の原作者武田一義先生のご協力を得て、高校生パラオブルーサポーター(小瀬高校と水戸啓明高校の生徒が参加)とのオンライン対談を行いました。

参加した高校生からは「戦争とは」「平和とは」を考えるきっかけとなり、貴重な経験ができたとの感想がありました。また、ペリリュー島に今も残る当時の戦車や大砲、日本軍が陣営とした洞窟や戦没者の慰霊碑などを、現地ガイドがリアルタイムで案内するオンラインスタディーツアーを実施しました。

本市は今後も、パラオ共和国との国際交流を継続的に推進していきます。



▲オンライン対談



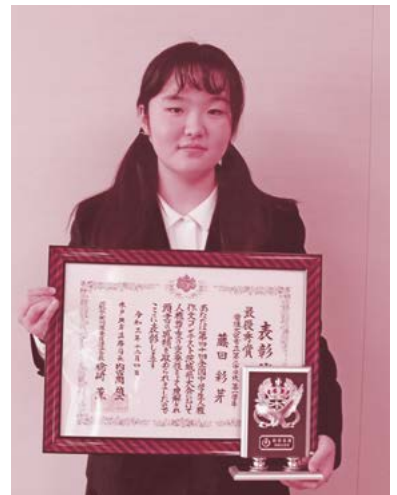
▲オンラインスタディーツアー

市教育長賞授与

茅根正憲教育長より優秀な成績を収めた第二中学校1年藤田彩芽さんに教育長賞が贈られました。

県内の中学校187校1万4212編の応募があった第40回全国中学生人権作文コンテスト茨城県大会で藤田さんの作文「助け合いの輪」が最優秀賞を受賞し、令和3年12月4日の茨城新聞にも作文全文が掲載され大きく取り上げられました。

また、全国大会へ出品となり奨励賞を受賞しました。



▲おめでとうございます

集落支援員・活動紹介

市では、集落の巡回・状況把握等を実施する「集落支援員」を委嘱しています(令和3年度は42地区に設置)。

【主な業務】

- ①集落の課題や要望等の把握(区の会議・話し合いへの参加、月2回程度の巡回等)
- ②集落の維持・活性化に向けた活動の促進(集落での催し物のサポート、草刈り支援等)

※地域の課題解決のために集落支援員に相談したい場合は、区の会議で直接相談したり、区長に集落支援員への相談事を伝えたりして、情報をご提供ください。

【塩原区：栗田 稔支援員】

11月27日(土)に、塩原区集落支援員と塩原地区農地・水保全管理活動組織が連携した「里芋収穫会」が実施されました。当日は快晴の中、38名が参加し、大人も子供も袋がいっぱいになるまで里芋を収穫していました。



【小野区：宇留野 積栄支援員】

11月28日(日)に「墓じまいに関する勉強会」が開催されました。講師を鹿嶋高房神社の海野宮司が務められました。当日は24名が参加し、講演後の意見交換も大いに盛り上がりました。



スポーツ大会結果

【大会名：第18回常陸大宮市民卓球大会】

開催日：令和3年11月27日

主催：常陸大宮市卓球連盟 後藤則明会長

会場：西部総合公園体育館

参加人数：136名

【中学一年男子の部】

優勝 菊池 剛瑠 山方中学校
準優勝 吉田 朋生 明峰中学校
第3位 菊池 哲瑠 山方クラブ
第3位 柏葉 鷹之介 球友クラブ Jr

【中学一年女子の部】

優勝 三村 花愛 Over Limit
準優勝 高安 彩花 Over Limit
第3位 角田 光希 球友クラブ Jr

【中学二年男子の部】

優勝 関澤 遼太 球友クラブ Jr
準優勝 矢部 拓深 Over Limit
第3位 吉田 陽人 桂中学校
第3位 大坪 煌明 球友クラブ Jr

【中学二年女子の部】

優勝 田尻 はな Over Limit
準優勝 富山 結衣 球友クラブ Jr
第3位 岡山 実央 大宮中学校

【大会名：第18回常陸大宮市近郊中学校バスケットボール大会】

開催日：令和3年12月18日・19日

主催：一般財団法人常陸大宮市スポーツ協会

会場：西部総合公園体育館

参加チーム：12チーム

【男子の部】

優勝 常陸太田市立瑞竜中学校
準優勝 東海村立東海南中学校
第3位 那珂市立第一中学校
敢闘賞 常陸大宮市立第二中学校

【女子の部】

優勝 大子町立大子中学校
準優勝 常陸大宮市立第二中学校
第3位 那珂市立第二中学校
敢闘賞 常陸大宮市立大宮中学校

地域おこし協力隊

がゆく

地域おこし協力隊3年目の古澤です。

11月20日(土)と21日(日)に「おうちで楽しむ・やまがた宿芋煮会」を実施しました。このイベントでは、道の駅常陸大宮～かわプラザ～にて「芋煮会で使用する食材・レシピ・生産者カード」の3点を入れた具材詰め合わせセットを100セット限定で販売しました。

このセット販売を企画した理由は2つあります。一つ目はコロナ禍で中止になる可能性が高い芋煮会を、別の方法で開催したいと考えたからです。二つ目はこれまでスポットライトが当たらなかった生産者の皆さんを前面に出していきたいと思ったからです。

この企画のために、芋煮会実行委員会の皆さんや商工観光課と何度も打合せをしました。また、奥久慈しゃも生産組合の皆さんは、今回のイベントに合わせて「奥久慈しゃも鍋つゆ」を開発してくださいました。

その結果、イベント当日は具材詰め合わせセットの当日販売分が即完売で、同時開催していた里芋の詰め放題は、両日合わせて575キロ分が完売しました。また、道の駅のレストラン常陸亭で販売していた芋煮定食も大好評で、全ての企画が大盛況の中、イベントを終えること

ことができました。

具材詰め合わせセットを購入された方から『美味しかったよ!』と言われることが多く、やってよかったと改めて感じました。

現在、協力隊として最後のイベント開催に向けて企画を検討中です。今回の芋煮会とつながるようなイベントを考えているので、どうぞ楽しみにお待ちください。



▲古澤隊員(左)と芋煮会実行委員会

環境インフォメーション

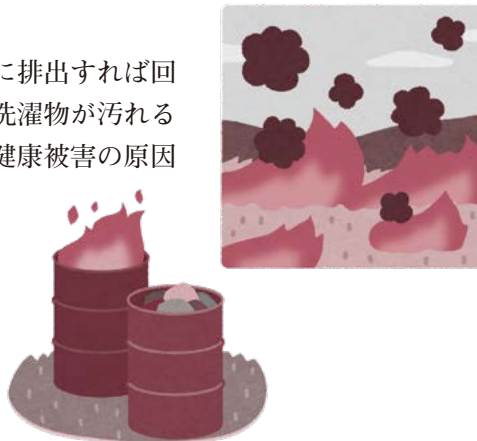
ごみの野焼きは禁止されています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、一部の例外を除き「野焼き」は禁止されています。簡易焼却炉・ドラム缶などを用いた焼却も同様に禁止されています。

不法な廃棄物の焼却は直接罰を伴う規定があり、違反した場合は、5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金に処されることがあります。

野焼きにより焼却されているものの多くは、ごみの日に適正に排出すれば回収できるものです。それらを燃やすと周囲にお住まいの方々に洗濯物が汚れるなどの被害が出るほか、有害物質が発生し、悪臭や環境汚染・健康被害の原因にもなります。さらに、火災につながる危険もありますので、絶対にやめましょう。必ず決められたごみの日に排出してください。

もし、野焼きの現場を発見した場合は、生活環境課または各支所地域振興G、不法投棄110番までご連絡ください。



〈参考：政令で定められている野焼きの例外〉

- ①国または地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却
- ②震災・風水害・火災・凍霜害その他の災害の予防、応急対策または復旧のために必要な廃棄物の焼却
- ③風俗慣習上または宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却
- ④農業・林業または漁業を営む上にやむをえないものとして行われる廃棄物の焼却
- ⑤たき火その他日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であって軽微なもの

※上記の例外規定に該当する場合でも、生活環境保全上の支障が生じ、苦情がある場合などは、例外扱いできないこともあるのでご注意ください。

■問い合わせ■

生活環境課 生活環境グループ ☎52-1111(内線114)

地域創生部各支所 山方☎57-2121 美和☎58-2111 緒川☎56-2111 御前山☎55-2111

不法投棄110番 ☎0120-536-380

食改さんのおすすめレシピ vol.27

食改さんのおすすめレシピを隔月で紹介しています。今月は冬におすすめの温かいスープの紹介です。

ほうれん草とあさりのクリーミースープ



あさりやほうれん草には鉄が多く含まれます。不足すると貧血の原因になり、顔色が悪くなる、頭が痛くなる、疲れやすくなるなど身体の不調に繋がることがあります。じゃがいもなどに含まれるビタミンCと一緒にとると吸収されやすくなります。

《作り方》

- ①じゃがいもは皮をむき、小さめのひと口大に切ります。電子レンジで加熱して軟らかくします。(500wで2分程度)
- ②ほうれん草は食べやすい大きさに切ります。沸騰したお湯でさっと下茹でして水にさらし、水気を切ります。
- ③玉ねぎは薄く切り、ベーコンは食べやすい長さに切ります。
- ④鍋に油を入れ、玉ねぎをしんなりするまで炒めます。
- ⑤④にベーコンとじゃがいもを入れて炒めます。ベーコンから油が出てきたら、あさり、ほうれん草を入れて軽く炒めます。
- ⑥⑤に豆乳、水、コンソメを入れます。
- ⑦ふつふつしてきたら粉チーズを入れて混ぜ、火を止めます。
- ⑧お皿に盛りつけて完成です。

《材料》1人分

じゃがいも	30g
玉ねぎ	20g
ほうれん草	20g
ベーコン	10g
あさり(水煮)	10g
豆乳(無調整)	100ml
水	30ml
コンソメ(顆粒)	1g
粉チーズ	1.5g
油	2g

一人分	エネルギー	食塩相当量
栄養成分	149kcal	0.8g

◆子育て応援サイト「ハッピー子育て」◆

「ハッピー子育て」には、市の行政サービスや子供の緊急時の連絡先、子育て関連施設・窓口など、子育てに必要な情報がいっぱい！また、アプリに子供の情報を登録することで、子供の成長に応じて検診・予防接種のご案内や育児に関する情報をアプリで受け取ることもできます。

WEBサイトは「常陸大宮市ハッピー子育て」

で検索、または、市ホームページのバナーから、アプリの場合は、下記QRコードを読み取り、ダウンロードしてください。



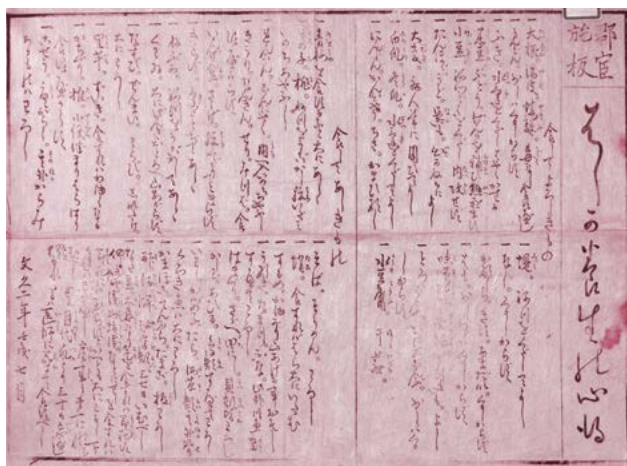
幕末のはしか禍を生きる

文久2年(1862)8月、上伊勢畑村(上伊勢畑)の百姓又次郎(36歳)の妻もと(30歳)は、はしかを患い、若くして亡くなりました。娘のはつ(14歳)とさき(9歳)、そして4月に生まれたばかりの善吉を残して一。又次郎は、シングルファーザーとして3人の子供たちを育てることになったのです(「御用留」、上伊勢畑区有文書)。

はしかは麻疹とも呼ばれるウィルス性の感染症です。感染すると39℃以上の高熱や発疹の症状があらわれ、肺炎や中耳炎を併発することもあります。現在は1歳時と小学校入学前に2度ワクチンを接種して大半の感染を防ぐことができていますが、江戸時代には「疱瘡は見目定め、麻疹は命定め」とも言われた危険な病気でした。

文久2年の夏、全国ではしかが大流行しました。さらに、ひと月後にはコレラも並行して流行したことで被害が拡大しました。とりわけ江戸の被害は甚大で、3ヶ月の間に約2万人が亡くなったとも言われています(『藤岡屋日記』)。また、感染予防や回復に良いとされた薬・食品の価格が暴騰したり、神に頼んで災難を逃れようとした人びとが町中にあふれたりして、江戸は「麻疹騒動」と呼ばれる混乱状態に陥ってしまいました。

はしかとコレラの波は、水戸藩領にも押し寄せました。水戸馬口旁町(水戸市末広町)の油問屋小泉茂兵衛は、水戸城下の死者数を500人余りと見積もっています(「年中日記覚」、小泉家文書)。江戸と同じように物価が高騰し、神輿をかついだ群衆が騒ぎ立てながら市中を練り歩きました。一方、常陸大宮市域では、主に那珂川流域の村々で感染が拡大したようです。小泉は、長倉



▲郡官施板 はしか養生の心得 (小野瀬家文書)



添田 仁氏
近世史部会部会長
茨城大学
人文社会科学部准教授

村(長倉)の惨状について「此節はしか尚亦コロリ盛二五日之間に三十人之亡命有之、おそろ敷事」と記しています。村人の5%にあたる30人の命が、わずか5日間で失われたことになります。また、対岸の上伊勢畑村でも2ヶ月で8人が死亡しました。この年の上伊勢畑村は渇水による不作も重なり、「複合災害」の様相を呈していたことがうかがえます。

水戸藩の対策は、予防策が中心でした。市内の各所に、藩が配布したパンフレット「郡官施板はしか養生の心得」が残されています。これは、はしか予防に良い食品や生活習慣を示したもので、村役人が複写し、旅人にまで配られました。このほか、徳川斉昭の正室吉子(貞芳院)が、領民一人一人に予防薬を一粒ずつ配ったことも知られています。

さて、シングルファーザーとなった又次郎の運命や如何に一。乳飲み子だった善吉の育児は、となり村の飯野村(茂木町飯野)が月1分1朱の「養育金」で引き受けてくれました。さらに、上伊勢畑村の村人たちが、子供たちの「養育」に必要な御救金の下付を藩に願い出てくれています。感染症で被災した家族に寄り添い、救いの手を差し伸べ、生きる支えになっていたのは、身近な地域社会だったと言えるのではないのでしょうか。

幕末のはしか禍について詳しく知りたい方は、『常陸大宮市史研究』4号所載の拙稿「水戸藩の流行り病一文久2年(1862)の麻疹とコレラを中心に一」をご参照ください。

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111(内線344)

消化器内視鏡検査・処置について

常陸大宮済生会病院 内科・消化器内科部長 永田 博之

健康
通信

COVID-19の流行もあって、元気な方は病院に足が遠のいていると思います。しかし、健康に長生きするためには、きちんと健康診断などを定期的に受けて、「症状だけではわからない病気」を早期発見していくのもまた大変重要です。日本人の2人に1人は、生涯何らかの癌にかかるといわれていますので他人事ではありません。

内視鏡検査も早期発見には重要な検査です。早期の胃癌や大腸癌であれば、内視鏡手術のみで十分に根治が可能なケースが多いです。一方、症状が出てから見つかる癌の場合には進行癌に至っていることもしばしばです。

皆さんもご存じのように、常陸大宮市では、全国的にも先駆けて胃癌検診を内視鏡（胃カメラ）で行うことが可能です。それにより、2020年度は565人の常陸大宮市民が検査を受け、5人が癌の診断につながっています。検診内視鏡は市内・外の複数の医療機関で実施しております。51歳以上の市民が2年に1度受診対象となります。受診券が届いていて、受けようか御悩みの方は、是非近隣の先生と相談してみたいかと思いますが？当院も受付しております。当院では、最新の内視鏡システムを準備しています。以前より格段に画質の良い経鼻内視鏡でも検診は可能です。□からの内視鏡が苦手な方にはお勧めです。（右写真）

また、胃癌検診内視鏡のみならず、保険診療での上部内視鏡（胃カメラ）、下部内視鏡（大腸カメラ）を、比較のお待たせせずに予約・施行いたします。それらの検査で見つけた内視鏡治療可能な早期の胃癌や大腸癌などについては、当院内科にて切除治療を行っています。進行した病変についても、外科を中心に、ガイドラインに準じた手術・化学療法などの対応を積極的に行っております。また、側視鏡を用いた胆道造影検査（ERCP）や減黄処置（黄疸をよくするためのステント治療や総胆管結石除去など）も行っております。

近隣の皆様に寄り添った検査・治療を行えるように日々努めたいと思います。女性の内視鏡施行医もおります。女性の患者さんも相談しやすいのではないのでしょうか？

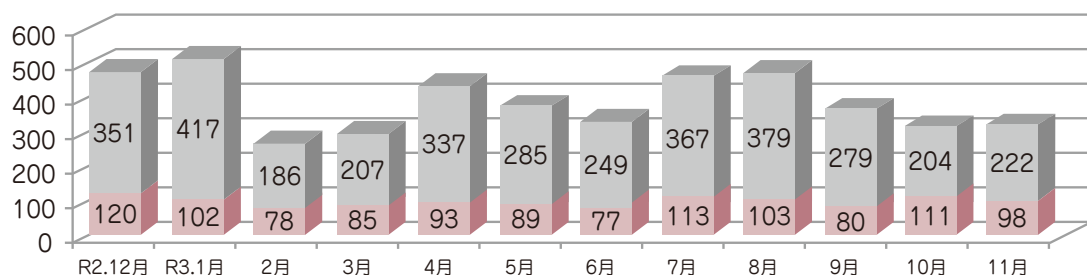
コロナ感染予防対策も万全に行っております。健康面で気になる方、この機にお気軽に相談ください。



▲(左)経口内視鏡 (右)経鼻内視鏡

※救急受け入れの人数を
月別に表しています。
(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況



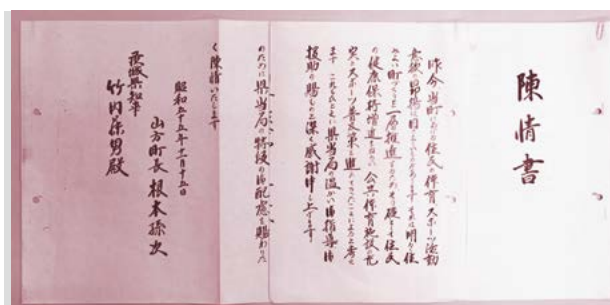
小貫橋下に運動場があった頃

久慈川や那珂川は、現在治水対策工事が進められ、堤防や遊水地が新たに設定されることになり、その姿を大きく変えつつあります。きっかけのひとつが令和元年の台風19号による大規模な被害でした。30年前の公文書から、久慈川の河川敷利用の一例をたどってみましょう。

◇小貫橋下の河川敷利用計画

山方地区と小貫地区を結ぶ小貫橋は久慈川にかかる橋梁として昭和48年に永久橋が架けられました（木橋の架橋は昭和22年）。

昭和55年、山方町は久慈川河川敷の神奉地地区及び小貫橋下に運動公園を建設するための補助金を茨城県に要望しています（11月15日付「陳情書」）。これは、河川敷等の遊休地の有効利用を図るため、県が昭和51年度から進めていた県民運動公園整備補助事業の第2次5か年計画（昭和56～60年度）への採択を企図したものでした。この結果、小貫橋下運動公園については、昭和56年度に補助金が交付されることが決定し、同年の町の当初予算に計上されることになりました（12月4日付「県民運動公園の整備補助について」、「町報やまがた」昭和56年4月10日）。翌年2月の申請書では、運動公園の内容がソフトボールグラウンドとクロッケーコート合わせて4万㎡余であることが判明します。河川は公共物であるため、運動場や公園のように特定の者の利用に供する場合は「占用許可」が必要となります。この運動場に関しては、初年度の申請では昭和57年度から2年間の占用を認められています（昭和56年3月12日付「大宮土木指令第139号」）。



▲写真1 山方町長の陳情書



▲写真2 現在の小貫橋と河川敷(右岸)

しかしこの運動場は翌年、「返地」されています（昭和58年2月21日付「返地届」）。理由として、久慈川の増水のたびにグラウンドの表層土が流出してしまうことを挙げており、久慈川河川敷の公園利用には増水対策という課題があったことがわかります。その後、同年12月にたこあげ大会のために一時的に利用され、翌59年3月に再び運動場の名目で利用（占用）を申請しています。ただし、面積は57年度の申請の半分の2万㎡余としています（内容は同じくソフトボールグラウンドとクロッケーコート）。2度目の申請では、2年間の利用を経て更新も行い、文書上では昭和64年（平成元年）3月31日までの占用が許可されていたことがわかります（以後は更新されていません）。

◇久慈川の氾濫と河川敷

小貫橋下運動場の返還の理由に挙げられている久慈川の増水は、昭和57年9月11日の台風18号が考えられます。このときの浸水戸数は久慈川流域全体で47戸ほどでしたが、増水により河川敷の運動場は冠水したと思われます。また、再申請後の昭和61年には、那珂川でも大規模な水害をもたらした8月の台風10号被害により再び大きな被害があったと想像されます。この台風では東北及び関東地方を中心に1都15県が被害を受け、8月4日～6日までの豪雨は激甚災害に指定されました（「1986年8月5日台風10号の豪雨による関東・東北地方の水害調査報告」国立防災科学技術センター、1987年）。

度重なる増水により、昭和56年度に山方町が整備を企図した小貫橋下の運動場は8年余りで幕を閉じました（同年度に整備された家和楽・皆沢のテニスコートは長く利用されました）。自然災害による社会への影響は、30年前の役場文書にも見ることができのです。



▲写真3 堤防整備が進む神奉地地区(右岸)

【参考文献】
「小貫橋下河川敷占用許可申請書及び各種占用許可所等綴昭和五十五年～」（当館蔵）、『山方町誌』下巻 1982（高村恵美）

■問い合わせ■ 文書館 ☎52-0571

その119番
本当に緊急ですか？



救急車の適正な利用をお願いします

他の資源が限られているように、救急車、医療機関、医師や看護師などの数も決して無限ではありません。医療が「限られた資源」であることを理解し、助け合う気持ちをもって利用しましょう。

救急車を呼ぶ前に考えよう



救急車不適正利用例

救急車は無料だから



優先的に診てもらえる



夜間・休日の診察時間外だった



このような理由で、救急車を利用しないことが市民の皆さまの安心につながります。1分1秒が傷病者の今後の日常生活に大きく関わってくる可能性があります。緊急性がなく体調が優れないときは、自家用車や交通機関などを利用して早めに医療機関を受診してください。緊急性の高い傷病者のもとに少しでも早く救急隊が到着できるよう、救急車の適正利用にご協力ください。



救急車を本当に必要とする人のために、 皆様のご理解とご協力をお願いします。

詳しくは、総務省消防庁HPまで <https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/>





緊急自動車の緊急走行にご協力をお願いします

救急車や消防車などの緊急自動車が緊急走行しているときには、速やかに道を譲るようご協力をお願いします。

緊急自動車とは？

火災現場や医療機関へ搬送時などの緊急用務を遂行するために赤色の警告灯(回転灯)をつけてサイレンを鳴らして走行している車両のことです。(道路交通法 39 条同法施行令第 14 条規定)

サイレンが鳴っています



赤色の警告灯(回転灯)がついています

緊急自動車が近づいてきたときの対応

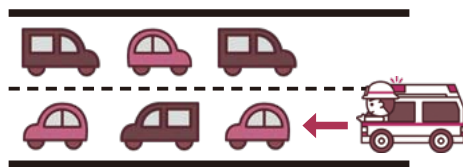
緊急自動車が緊急走行で接近してきた場合、基本的に左側に寄って緊急自動車の道を譲らなければなりません。道路交通法では次のように対応を定めています。

・交差点またはその付近の場合(道路交通法第40条1項)

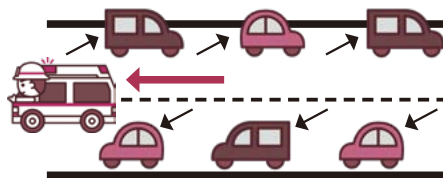
交差点を避けて、かつ道路の左側(一方通行となっている道路においてその左側に寄ることが緊急車両の通行を妨げることになる場合は、道路の右側)に寄って一時停止しなければならない。

・交差点またはその付近以外の場合(道路交通法第40条2項)

道路の左側に寄って、緊急自動車に進路を譲らなければならない。



緊急自動車が近づいてきたら…



基本的に左側に寄って道を譲りましょう

緊急自動車に進路を譲らなかったら？

緊急自動車に対する進路妨害には、おもに2つの違反があります。

・緊急車妨害等違反

道路交通法第40条「緊急自動車の優先」および第41条の2「消防用車両の優先」により、一般車は緊急自動車が来たら交差点を避けて一時停止し、緊急自動車を優先することが義務付けられています。

罰則金：5,000～7,000円 違反点数：1点

・本線車道緊急車妨害違反

道路交通法第75条の6「本線車道に入る場合等における他の自動車との関係」により、一般車は緊急自動車が本線車道に出入りすることを妨げてはならないと義務付けられています。

罰則金：5,000～7,000円 違反点数：1点

緊急自動車が迅速かつ安全に走行できるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54-0119

御前山ビオトープ周辺の植物等

山野に普通に見られる多年草です。茎の下部は木質化しています。全体に黄褐色の粗い毛があります。大きな葉は3つの小葉からなり、裏面は白色を帯びています。秋に葉のわきから花序を伸ばし、赤紫色の花を多数つけます。花は花序の下の方から順に咲いていきます。根からとったでんぷんがくず粉です。また、秋の七草のひとつです。



(クズ科)
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

移住体験ツアーを実施

【令和3年10月22日～24日・11月5日～7日】

移住・定住
促進ウェブサイト
こちらから



2泊3日で、首都圏近郊からの参加者がテレワークやワーケーションを体験する「週末ワーケーションツアー」と農業体験や先輩移住者と交流する「週末農業ツアー」を実施しました。

各種体験や先輩移住者との交流を通して、市への理解やつながりを深め、将来的に移住を検討いただくことが目的です。

参加者は、仕事や日常生活を体感しながら、本市での暮らしや働き方など、今後のライフスタイルの可能性を探っていました。



▲先輩移住者との座談会の様子



▲青空の下でのカヌー体験



▲JA常陸 奥久慈支部会での作業体験



常陸大宮市の人口

(1月1日現在・推定常住者)

総人口 38,546人 世帯数 15,673世帯
(男 19,035人 女 19,511人)

広報 常陸大宮 1月 第208号

発行日 令和4年1月25日

発行/常陸大宮市 編集/企画政策課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

